



2020年11月号

# S S T L

## かつぽ ジャーナル



はじめまして

木村洸貴です事務局長5年目です  
普段は就労センター夢燈館にいます。

月2回月曜日店番きています。

短い自己紹介ですけど、よろしくお願ひ  
します。

夢燈館では古着値段つけたりしています。

事務局会議出ています。以上です

木村

振込口座(ゆうちょ) 00270-8-107736

埼玉県庁内「福祉の店」運営協議会

Email: antennashop\_kappo☆yahoo.co.jp

### アンテナショップかつぽ

埼玉県庁内「福祉の店」運営協議会

〒336-0011 埼玉県さいたま市高砂 3-15-10

埼玉県庁第二庁舎1階

☎ 048-830-7788

営業時間 10時から16時

編集人・埼玉県庁内「福祉の店」運営協議会アンテナショップかつぽ さいたま市浦和区高砂 3-15-1

発行人・埼玉県障害者団体定期刊行物協会 川口市芝新町十五-九 アステール藤野一階 定価 100円

# あなたもチャレンジしてみない？



## ほんのわずかな時間だけど！！

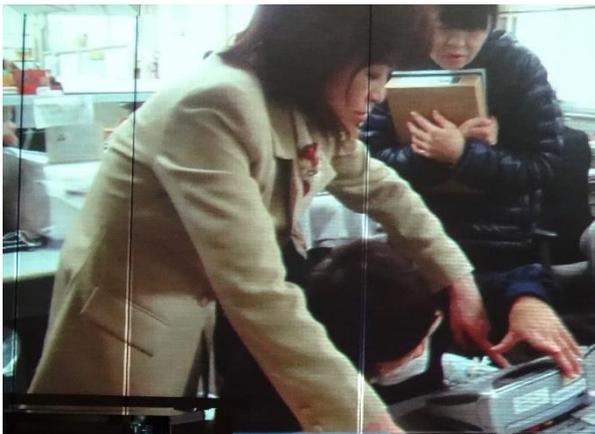
### 埼玉県庁内職場体験実習 一度体験してみませんか？

「県庁内職場体験実習」とは障害を持つ方が県庁舎内で「働く」ことを体験する実習で2004年から50名以上が体験しています。

参加するにあたり、障害種別や程度は一切問いません。もちろん施設種別も問いませんし、在宅の方でも構いません。「働く」ことを体験してみたい方や体験して欲しいと思う支援の方からの推薦で、一般の実習への参加は難しい方たちが参加しています。



2013年職場体験実習の様子



2013年職場体験実習の様子

2004年の実施当初は浦和にある「本庁舎」での受入が主でしたが、近年は出先機関での受入が主となり、実習の裾野は全県的に広がってきているかと思っています。しかし、本実習が誰もが知っている実習かと言えばそうではないと思っています。より多くの方に本実習を知ってもらい、体験してもらえればと思っています。

～昨年度体験した実習生～



印象的だった受入課所は「加須げんきプラザ」でした。「加須げんきプラザ」の担当者の方は特別支援教育課で行っている「チームぴかぴか」に関わったことがあるとのことで、受入れにとっても理解がありました。しかしざ実習に入ると、挨拶や返事がしっかりと出来ているので、口頭での指示で理解していると思い作業以来し始めてみると、指示が理解しきれず作業が進まない。手本を見せて指示しても理解しきれない。短時間で作業に飽きてしまう。といった点などでご苦

勞されていました。

そういった点から担当職員さんは「今後は就労を目指すとのことですが難しいのではないのでしょうか？」と疑問を投げかけていましたが、実習生の所属施設職員さんは「目標は就労」とはっきり仰っていました。

ひと口に「障害者」と言っても様々な方たちがいます。そしてその方たちの分だけ「障害者が働く姿」はあるはずだと思うのですが、世間では「障害者が働く姿」は固定された見方をされているのだなと思いました。

#### 昨年度実習受入課所

受入課所	受入人数
秩父福祉事務所(秩父市)	1名
秩父環境管理事務所(秩父市)	1名
自然の博物館(長瀬町)	2名(同期間に2名実施)
加須げんきプラザ(加須市)	2名(期間を分け2名実施)
庄和浄水場(春日部市)	1名
県立がんセンター	1名

今年度はコロナの影響で実習が無くなってしまいましたが、毎年12月中旬から下旬に決まります。

本実習に関してご興味を持って下さった方、ぜひご連絡お待ちしております。また、本実習に関してのお問い合わせも受けております。詳しくはかっぱ板倉までお願い致します。

お問い合わせはこちら！

アンテナショップ かっぱ店舗運営担当兼職場体験  
実習コーディネーター 板倉 真紀

☎ 048-830-7788 (月-金 10時から16時)

Email: antennashop\_kappo@yahoo.co.jp

# なが〜い おつきあい ぺんぎん村とかっぼ

関 啓子(さいたま市)

ぺんぎん村の昔の資料が出てきて、25年以上も前にぺんぎん村独自で「県庁舎内における販売活動」の要望書を出していた事や、市役所内で販売活動をしていた事を思い出しました。



また、かっぼ運営事務局会議で、社団法人・埼玉障害者自立生活協会が障害者の働く場をつくっていかうと「障害者の働く事業所ネットワーク」を立ち上げ、県内のいくつかの団体が各地で事業所を始めたこと、その中にぺんぎん村関連の出会いの店・てくてくもあり、かっぼの前身の埼玉県庁内福祉の店もあったことを知りました。

正式にかっぼができて、初代店長になったのがぺんぎん村に一年間ボランティアとして派遣されてきていたMさんでした。

ぺんぎん村とかっぼは深〜いご縁でむすばれています。それ以来店番に入る人は代替わりしてきていますが、今も毎週木曜日に店番に入っています。

店番参加団体の多くが公費の助成を受けて事業所を運営しています。その事業所の職員と利用者が店番に入っています。

しかし、ぺんぎん村は任意団体のままで、ぺんぎん村の会員とぺんぎん村の有償ボランティアで店番に入っています。

今店番に来ているkさんとsさんにとって貴重な働く場・機会になっているのです。かっぼからの店番手当とぺんぎん村からの



ボランティア費を合わせて「お給料」として二人に支給していますが、二人共とても楽しみにしていますし、働いて得られるお金はやりがいの基、生活の張り合いになります。



かっぼは二人にとって欠かせないものなのです。「誰もが共に生きる地域をめざす・ぺんぎん村」の活動にとっても、「障害がある人もない人もともに働く店」のかっぼは理念を共有し実践する大切なところ です。

ぺんぎん村にとって欠かせないかっぼですが、このコロナ禍で2ヶ月ほど店番活動ができず、かっぼに

とっても店番団体が県庁舎内をまわり定点販売しての売上げが無くなったことは経営的に大きなダメージがありました。

少しでも売上げを伸ばそうと、県職員に上尾の井上スパイスさんのカレーの注文販売をしました。北本トマトカレーのカレールーやレトルトカレーは店頭でも引き続き販売中！新たな商品として鴻巣のオオサワ牛乳の瓶牛乳の販売を9月から始めました。

定番商品の県内障害者関連団体・事業所のクッキーやおせんべいや手作り品も好評販売中！そして県内各地の物産品も月代わりで販売しています。

県庁近くにお越しの際は、県庁第2庁舎にある「県庁内福祉の店・アンテナショップかっぼ」に是非お立ち寄りください。



かっぼ運営維持・協力金募集しています！  
みんなが頑張って売上げを上げようとしています  
なかなか思うようにはいきません。ぜひご支援ください

**振込口座(ゆうちょ) 00270-8-107736**

**埼玉県庁内「福祉の店」運営協議会**

こ

の店は、まだ福祉制度が充実していなかった1997年4月から、埼玉県庁第二庁舎のロビーに開店しました。

公共の場所の中にある店の特性を生かし、地域で障害者が営んでいる生活を多くの人に知らせること。障害者と健常者が共に生きる社会を一緒に考えてもらうきっかけにしていくこと。障害者と健常者が共に働く店を運営していくこと。障害を持つ人と持たない人が、一緒にいる事を通して福祉や仕事、街づくりや自治体の役割を問い直していくことなどを目指して始めました。

開

店から四半世紀たつ今、「地域で分け隔てられることなく」と、障害者福祉も充実してきました。でも、本当にそうでしょうか？

障害を克服し何の支援もなく、仕事に合わせて働く労働の場か、地域の人との付き合いもなく、特別な環境に置かれる福祉の場ばかりが多くなっています。結局どちらを選択しても障害がある人の生活は、街の隅に追いやられていないでしょうか。地域生活の実感もないまま、介護保険法や障害者総合支援法のサービスの対象となってしまう障害を持つ人を多く見てきました。

かっぼは、「福祉制度の外にある」くらしやしごとの在り方を店を運営することを通して、一緒に考えるきっかけを作っています。

普

段は、福祉施設などにいる重い障害がある人が、電車、バスはもとより、施設の車や移送サービスなど自前(じまえ)のさまざまな手段や制度を利用しながら、日替わりで通ってきています。普段とは違う、県庁というフォーマルな場で働くための工夫や気持ちの変化があるようです。施設職員と利用者の関係ではない様々な軋轢や切磋琢磨も生まれています。

店の運営はとても厳しいです。それでもこの店の「障害の有無に関わらず共に働く」という経験が、地域で働く

## アンテナショップかっぼ

埼玉県庁内「福祉の店」運営協議会

〒336-0011 埼玉県さいたま市高砂 3-15-1

埼玉県庁第二庁舎 1階

☎ 048-830-7788

振込口座(ゆうちょ) 00270-8-107736

Email:antennashop\_kappo@yahoo.co.jp

すべての人にきっと役に立つと思っています。それが「共に生きる地域を創造する」ことにつながると信じて、県庁が開いている日は毎日、この店を運営しています。